

サービス見込み量進捗管理作業シート

計画値：令和6年度、実績値：令和7年3月末

ステップ１：認定率の比較（年間）

(%)

		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
要介護認定率		0.0%	17.2%	-17.2%	
年齢階級	前期高齢者	0.0%	3.5%	-3.5%	
	後期高齢者	0.0%	25.9%	-25.9%	

ステップ２：利用者数の比較

サービス名		単位	計画値	実績値	達成率 (実績値/ 計画値)	乖離 の有無	現状の分析とその確認方法 課題、対応の必要性について
居宅サービス	訪問介護	人/年	5,076	5,256	104%		
	訪問入浴介護	人/年	516	323	63%	乖離あり	利用者の減少
	訪問看護	人/年	5,076	5,188	102%		
	訪問リハビリテーション	人/年	1,092	1,059	97%		
	居宅療養管理指導	人/年	6,120	11,861	194%	乖離あり	利用者の増加
	通所介護	人/年	8,280	8,377	101%		
	通所リハビリテーション	人/年	2,952	2,604	88%		
	短期入所生活介護	人/年	1,728	1,489	86%		
	短期入所療養介護（老健）	人/年	132	156	118%		
	短期入所療養介護（病院）	人/年	0	2			
	福祉用具貸与	人/年	14,964	14,704	98%		
	特定施設入居者生活介護	人/年	1,668	1,397	84%		
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	人/年	72	46	64%	乖離あり	施設未整備
	夜間対応型訪問介護	人/年	0	0			
	認知症対応型通所介護	人/年	0	0			
	小規模多機能居宅介護	人/年	228	207	91%		
	認知症対応型共同生活介護	人/年	648	607	94%		
	地域密着型特定施設入居者生活介護	人/年	0	0			
	地域密着型介護老人福祉施設	人/年	360	347	96%		
	看護小規模多機能型居宅介護	人/年	0	0			
	地域密着型通所介護	人/年	600	827	138%	乖離あり	事業所の増加
施設サービス	介護老人福祉施設	人/年	3,012	2,757	92%		
	介護老人保健施設	人/年	3,012	3,162	105%		
	介護医療院	人/年	36	54	150%	乖離あり	利用者の増加
介護予防支援・居宅介護支援		人/年	19,740	19,882	101%		

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

(円/年)

サービス名		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	110,712	97,371	13,341	
	訪問入浴介護	52,645	61,361	-8,715	
	訪問看護	48,534	45,730	2,804	
	訪問リハビリテーション	33,575	33,776	-201	
	居宅療養管理指導	14,138	7,268	6,870	
	通所介護	85,164	80,875	4,288	
	通所リハビリテーション	62,294	60,053	2,241	
	短期入所生活介護	88,159	82,603	5,556	
	短期入所療養介護（老健）	101,000	100,549	451	
	短期入所療養介護（病院）		42,117	-42,117	
	福祉用具貸与	12,708	11,720	988	
	特定施設入居者生活介護	196,195	182,215	13,981	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	85,778	187,196	-101,418	サービスの利用が増大し、見込みより給付費が増加した為
	夜間対応型訪問介護				
	認知症対応型通所介護				
	小規模多機能居宅介護	219,289	183,200	36,090	サービスの利用が減少し、見込みより給付費が減少した為
	認知症対応型共同生活介護	275,557	273,823	1,734	
	地域密着型特定施設入居者生活介護				
	地域密着型介護老人福祉施設	310,375	317,721	-7,346	
	看護小規模多機能型居宅介護				
	地域密着型通所介護	120,790	95,923	24,867	
施設サービス	介護老人福祉施設	276,346	278,180	-1,834	
	介護老人保健施設	313,916	309,252	4,663	
	介護医療院	386,667	401,589	-14,923	サービスの利用が増大し、見込みより給付費が増加した為
介護予防支援・居宅介護支援		14,182	14,001	181	

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題（地域密着の整備についても含め）

本市は施設サービスが多くあり、要介護1、2の人は老人保健施設、その後に介護老人福祉施設という流れがある。介護老人福祉施設、介護老人保健施設に加え、認知症対応型共同生活介護においても利用者の高齢化に伴い、平均介護度が重度化している。在宅介護という選択ができるよう、サービス提供体制を構築していく必要がある。

ステップ5：地域密着型サービスの整備状況

(%)

サービス名		計画値 (9期中)	整備数 (R7.3末)	達成率 (整備数/ 計画値)	現状、整備を図るうえでの課題・整備見込
	定期巡回・随時対応型 (施設数)	0	0		
	夜間対応型訪問介護 (施設数)	0	0		
	認知症対応型通所介護 (施設数)	0	0		

地域密着型サービス	小規模多機能居宅介護 (施設数)	1	0	0%	公募したが応募なし
	認知症対応型共同生活介護 (定員数(人))	9	0	0%	1件応募あり
	地域密着型特定施設入居者生活介護 (定員数(人))	0	0		
	地域密着型介護老人福祉施設 (定員数(人))	0	0		
	看護小規模多機能型居宅介護 (施設数)	1	0	0%	1件応募あり
	地域密着型通所介護 (施設数)	0	0		

- ・サービスの計画的な整備にあたって、事業者の募集の方法等、工夫をしている点について記入をしてください。
(指定基準を条例に盛り込む、公募指定の活用、説明会の開催・個別の働きかけ等)
- ・サービスの整備が充足しており、これ以上の整備は不要である場合は、そのように考える状況を記載してください。

事業者の募集について、既存施設への併設、または公募を行う地域密着型サービス事業を合併・併設して新設することを認め、募集範囲を広げた。